

# 木 準

きじゅん



知るは、たのしい  
木と木材のこと。

## 木と木材のことを、もっと知ろう。

ほんの数十年前までは、  
木の風合いそのままに作られていたものも、  
今では、さまざまな人工素材で作られるようになりました。

人工素材で作られたものには、  
強さや精度の高さ、手入れのしやすさ、  
あるいは、同じ品質のものを揃えやすいことなど、  
木製品よりすぐれた点があります。

いちど使い慣れると、つい  
人工素材で作られたものを選びがちです。

一方で、木製品には、  
やわらかさ、温もりのある手触りの良さ、  
時とともに深みをます風合いなどがあります。

他の素材にはない魅力がそなわっている木製品と向き合うとき、  
いまの日本で、もっとも利用が期待されている  
スギやヒノキなどの針葉樹を知るとはとても大事なことです。

木製品を暮らしの中で上手に取り入れるために、  
スギやヒノキの性質・性格、お手入れの仕方など、  
木製品を使う上で、さまざまな疑問について  
答えなどをまとめたガイドブックが「木準」です。

<木準>では、製材される前を“木”、製材された後を“木材”、  
木材で作られたものを“木製品”と呼んでいます。

# いいこと、いろいろ。針葉樹がもつチカラ。

※それぞれの効果は環境や木の使用量や表面仕上げの方法によって異なります。  
また、人によって感じ方に差異があります。

## 【 針葉樹の 12 の効能 】



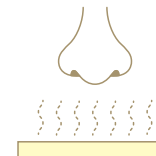
### 1. 手触りがいい

鉄や石、コンクリートなどの素材と比べてみると、手触りがやさしく、温かみがあります。



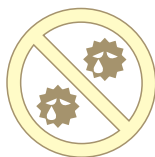
### 2. 衝撃をやわらげてくれる

素材として十分な強さがありながら、やわらかさも併せ持っています。



### 3. いい香りがする

針葉樹には独特の香りがあります。森林浴が気持ちを落ち着かせるのも、この香りの働きによるものです。



### 4. 抗菌作用がある

針葉樹の香りには、細菌などの繁殖を抑える作用があります。



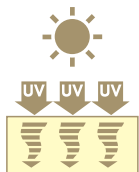
### 5. 断熱機能がある

針葉樹が持つ断熱効果のため、夏は涼しく、冬は暖かく感じられます。



### 6. 調湿機能がある

周囲の空気の湿度に応じ、水分を吸収したり放出するため、湿度を一定に保とうとする働きがあります。



### 7. 目にやさしい

約90%の紫外線を吸収する性質があります。壁や床が針葉樹でできた空間は、目にやさしい環境といえます。



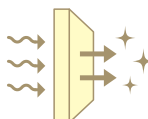
### 8. 耳にやさしい

音も吸収してくれます。針葉樹が使われた空間は、気になる反響音を抑え、耳にやさしい空間でもあります。



### 9. 脳が活性化

針葉樹には、脳の活性化に好影響があるとされるα-ピネンという物質が多く含まれています。



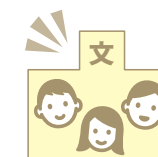
### 10. 消臭効果がある

ホルムアルデヒドを分解したり、匂いを吸収したりしてくれます。



### 11. 防ダニ効果がある

ダニの繁殖を抑えます。



### 12. インフルエンザ対策

木質化された教室では、インフルエンザによる学級閉鎖の割合が、半分近くまで減ることが判っています。

# 木は生きもの。

原木は木に加工されるまでに、数十年という長きにわたり自然の中で生きてきました。その歳月のなかで台風や大雪で枝が折れたり、動物によって幹が削られ、傷ついたり、時には虫の住処になったりしながら生長してきました。木材に見られる節や年輪や色味の違いは、すべての木が同じ環境で育っていないという証です。木や木材に現れるそれぞれの特徴を知ること、木への愛着を深め、使っていきましょう。

## 【 木の特徴 】

### イキブシ 生節

枝が生きている状態で幹に巻き込まれてできた節。  
枝や周囲の幹の組織と結合しています。

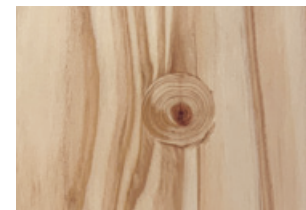


### シニブシ 死節

枯れた枝が幹に巻き込まれてできた節。  
周りの組織と結合していないため、死節の部分だけ抜け落ちてしまうことがあります。  
このため、埋木やパテ埋め等の処理を行います。



### 死節の処理



埋木



パテ埋め

### ハブシ 葉節

気根（空気中に伸びる根）や苗木の時、未熟な枝が巻き込まれてできた節の跡。  
小さな点のような節で、宮崎県で生産される飫肥杉などに多く見られます。



### イ カフ 入り皮

木が生長していく過程で、樹皮の一部が幹に巻き込まれた痕跡で、筋状の模様になります。



### ブルーステイン

虫による食害の一種。  
青変菌によって薄く青く変色します。  
変色していますが、強度に影響はありません。



### シラタ 白太

幹の芯から外側の、白っぽい部分です。  
原木の辺材部分で、白身と呼ばれることもあります。



### アカミ 赤身

幹の芯に近い真ん中の部分で、赤っぽい色をしています。  
ヒノキよりスギの方が色が濃く、同じスギでも産地により色が異なります。

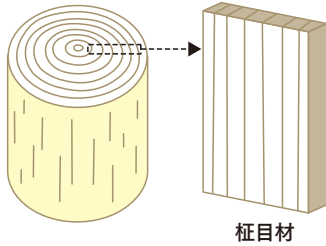


# 木は、木材となっても自然の風合いを楽しめます。

## 【 木材の特徴 】

### マサメ 柾目

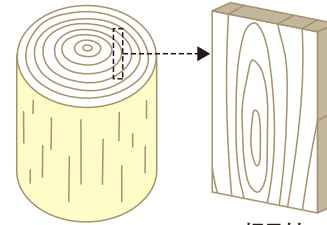
年輪に対して  
垂直に挽いた時に出る  
模様です。  
採れる数が限られるため  
高価です。



柾目材

### イタメ 板目

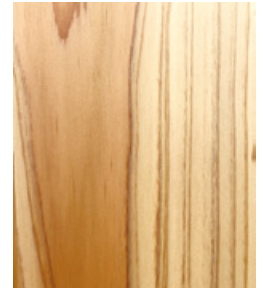
年輪の接線方向に  
挽いた時に出る模様です。  
柾目に比べて  
反りやすくなります。



板目材

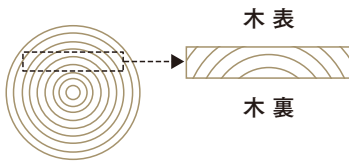
### ゲンペイ 源平

白太と赤身の両方を有している  
板のことです。  
源氏（白色）と平家（赤色）の  
旗の色に由来しています。



### キオモテ キウラ 木表と木裏

板目に製材した板の  
幹表面に近い側を木表、  
芯に近い側を木裏と  
いいます。

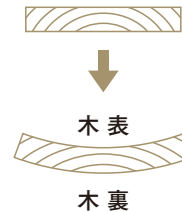


木表

木裏

### ソ 反り

板は部位によって伸縮の程度が  
異なります。  
板の表側と裏側の伸縮率が  
異なることで、木表側に反りやすい  
という性質があります。

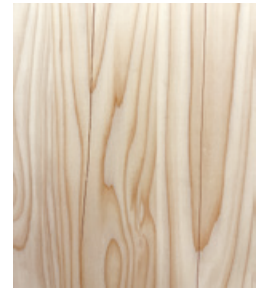


木表

木裏

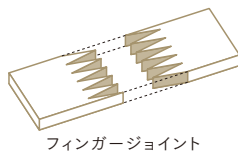
### ヒワ 干割れ

板は湿度を吸ったり、吐いたりすることで  
部屋の湿度を一定に保ってくれます。  
乾燥に伴ってひび割れが生じることが  
ありますが、  
強度には影響がありません。

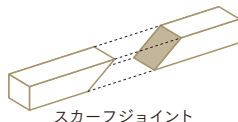


### ツギテ 継手

木材どうしを長さ方向に接続して、  
より長く大きな部材にしていく方法です。  
フィンガージョイントやスカーフジョイント  
等の接着法があります。



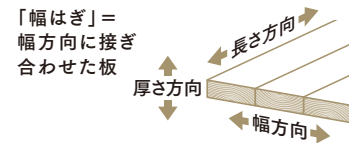
フィンガージョイント



スカーフジョイント

### ハバ 幅はぎ

板を幅方向に接着して  
大きな板にすること。  
白太と赤身が混ざったり、  
材を有効活用するために  
隣り合う天板や棚板で幅ハギの  
寸法が異なることもあります。



白太と赤身の材が  
混ざる



幅はぎ寸法違い  
混ざる

### ケイネンヘンカ 経年変化

木は汚れや日焼けで  
色や風合いが変化します。  
経年変化することで「白太」「赤身」  
の色差が目立ちにくくなります。  
表面をやすすることで新品に近い  
状態に戻すこともできます。



# 木製家具を使う人へ。

木には道管と呼ばれる穴がたくさん空いています。

根から吸った養分や水分を葉っぱにまで届けるための管です。

この穴があるから、木は、家具になっても

空気中の水分を吸ったり吐いたりします。

周囲の環境に反応して、水分を吸収しては膨らみ、水分を放出しては縮む。

そうして木の家具は、時として反ったり歪んだりします。

そうした動きを抑える技術も進化していますが、

自然由来のものだけに完璧にはコントロールできません。

でも、木が膨らんだり縮んだりすることで生まれるメリットもあります。

湿度の高い夏、湿度の低い冬。

周囲の環境に反応して、湿気を吸ったり吐いたりしながら

一定の快適な状況を提供してくれる作用もそのひとつです。

欠点の要因となることが、長所を生み出すこともあるのですね。

さて。次のページから、木でできたものとお付き合いいただく上で、

知っておいていただきたいことを記します。




木製の家具などについて、多くの人が不安に思っていることを

28の項目にまとめたものです。

いろいろな木製品との暮らしを、

ちょっとした手間を含めて楽しむヒントがあると思います。

以下の表は、28の不安に対して、「木の性質と注意点」「予防」「対処」についてまとめたものです。対処については、かえって製品を傷つける可能性もありますので、一度目立たない場所で試して確認した上でお願いします。

予防や対処ができないもの			
木への不安	木の性質と注意点	予 防	対 処
 01. 経年変化がある	変形や変色などの経年変化があります。特に追加購入時に差異が生じます。	—	—
 02. 色柄にばらつきがある	天然木は、商品ごとに木目、色、節の数などにばらつきがあります。	—	—
 03. メンテナンスに手間がかかる	スチールや樹脂製の家具と異なり、適切なメンテナンスが必要です。	—	—

予防はできないが対処ができるもの			
木への不安	木の性質と注意点	予 防	対 処
 04. 湿っぽい匂いがする 05. 匂いが気になる	時間の経過とともに薄れていきますが、中には木の匂いが気になる方もおられます。	—	匂いが気になる時は、部屋の換気をしてください。
 06. ささくれる	角や端などは、欠けたりささくれが生じたりしやすく、怪我をする恐れがあります。	—	紙やすりで表面を薄く削ってください。ただし、塗装されている場合は、塗装が剥けますので、紙やすりをご使用にならないようお願いします。
 07. 割れる	割れが生じにくいよう工夫はしていますが、経年や使用環境によって木にはひび割れが生じます。小さいお子様がいらっしゃる場合は、ひび割れに指を入れないようご注意ください。怪我の恐れがあります。	—	割れにより、接合部などがぐらつくような場合を除いて、強度面に影響はありません。割れをふさぐためには、市販の木工用パテなどをご使用ください。

対処はできないが予防ができるもの

木への不安	木の性質と注意点	予 防	対 処
 <p>08. 縮む・やせる 09. 曲がる 10. 反る 11. ひねりが起こる</p>	<p>使用環境の湿度と温度の変化によって、収縮したり反りや曲げ、隙間が発生することがあります。</p>	<p>エアコンの風などが直接当たらない場所に設置してください。</p>	—
 <p>12. 変色する 13. 日焼けする</p>	<p>時間の経過とともに変色します。特に日光のあたる場所では早く変色します。</p>	<p>日光が直接あたらない場所に設置してください。</p>	—
 <p>14. 湿度変化に弱い 15. 温度変化に弱い</p>	<p>高温多湿な場所に設置すると、経年による割れや反りが発生します。</p>	<p>高温多湿な場所に設置しないでください。</p>	—
 <p>16. 火に弱い</p>	<p>火を近づけると燃える恐れがあります。</p>	<p>火気の近くでのご使用はお避けください。</p>	—
 <p>17. 平滑性が悪い</p>	<p>部位によって硬さが異なります。木目に沿って凹凸感があるため、天板としてご使用される場合、文字などが書きにくいことがあります。</p>	<p>筆記の際は下敷きやデスクマットのご使用が効果的です。</p>	—
 <p>18. 耐久年数が短い</p>	<p>ご使用方法によっては耐久年数が短くなる場合があります。</p>	<p>適切なメンテナンスとご使用方法、設置環境にご配慮ください。</p>	—

予防や対処ができるもの

木への不安	木の性質と注意点	予 防	対 処
 <p>19. 汚れる 20. 輪染みができる 21. 手垢が残る 22. 黒ずみが出る</p>	<p>塗装していない場合、汚れや輪染みや手垢や黒ずみがつきやすくなります。</p>	<p>市販の木工用塗料やオイルを塗ることで、汚れがつきにくくなったり、目立ちにくくなったりします。また、小まめに乾拭きをすることも汚れ防止に効果的です。</p>	<p>汚れた場合には、硬く絞った雑巾で拭いたあと、乾拭きしてください。</p>
 <p>23. 傷がつく 24. へこむ</p>	<p>打痕や傷がつきやすい素材です。天板としてご使用の際は、筆記具などの跡が残ることがあります。</p>	<p>筆記の際は下敷きやデスクマットのご使用が効果的です。また、硬いものを当てないようにご注意ください。</p>	<p>小さい打痕や傷の場合は、紙やすりで表面を薄く削ってください。目立たなくなることもあります。ただし、塗装されている場合は、塗装が剥けますので、紙やすりをご使用にならないようお願いします。 打痕や傷に、水を垂らしてタオルをあててアイロンをかけることでも、目立たなくなります。ただし、時間が経過した場合は効果が見られない場合もあります。</p>
 <p>25. 接合部がゆるむ</p>	<p>木の収縮などにより、ご使用中ネジなどがゆるむことがあります。</p>	<p>定期的にはゆるみなどが無いかご確認ください。</p>	<p>ゆるんでいる箇所を見つけた時は、ドライバーなどで締め直してください。きつく締めすぎるとネジ穴を潰すことにもなりますので、締めすぎないように、ご注意ください。(手締めをお願いします)</p>
 <p>26. 水に弱い</p>	<p>水に濡れると、膨張や染み、くされ、カビが発生することがあります。</p>	<p>水の近くでのご使用はお避けください。</p>	<p>濡れた際は、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。</p>
 <p>27. カビが生える 28. 虫が食う</p>	<p>使用環境により、カビが生えたり虫食いが発生することがあります。</p>	<p>高温多湿な場所や虫食いが発生しそうな場所に設置しないでください。また、換気や乾拭きを小まめに行ってください。</p>	<p>虫食いの穴に殺虫剤を注入してください。カビの場合は、エタノール(もしくは木部専用カビ取り剤)を塗布し、完全に乾いてから乾いた布で拭き取ってください。ただし、塗料によっては、剥がれる恐れがありますので、ご注意ください。</p>

# 木の家具と、長くつきあっていくために。

## 【表面のお手入れ方法】

使いながらお手入れしていける仕上げとして、  
オイル塗装仕上げをおすすめします。

### ●お手入れできる木の家具



無塗装、もしくは  
オイル塗装仕上げ  
のもの

### ●準備するもの



日本の木でできた天板、棚板



植物性  
オイル



布2枚(塗布用と拭き取り用)

日本手拭いが適しています。パイル  
地タオルや、ハケ、ローラー、スプレ  
ーのご使用は塗り過ぎの原因になり  
ますので、ご使用をお控えください。



ビニール袋

### ●お手入れの手順



塗布する面の木地表面についたほ  
こり、ごみ、汚れ等をあらかじめ拭  
き取ってください。  
オイルの容器をよく振り、よく混ぜ  
てから布にオイルをつけます。



木目に沿ってオイルをまんべんなく  
塗り込んでいきます。  
木地に擦り込むように、ごく薄く延  
ばしてください。



塗布後すぐに木の表面の油分を、別  
の乾いた布で十分に拭き取ります。  
から拭きが十分でない、表面がべ  
たついたり、乾燥が著しく遅くなっ  
たりすることがあります。



乾燥時間は、使用した塗料、材質(樹  
脂)、季節、地域によって異なります  
が、約24 ~ 72時間を目安としてく  
ださい。



使用済みの布は積み重ねて放置し  
ておくと、自然発火する恐れがあり  
ます。水に濡れたままビニール袋に  
入れ、密封し可燃物として処理して  
ください。

実施時期は  
半年に1回を  
目安に行います。

# 木が好きな人が、もっと増えますように。

日本でもっとも豊富な木資源である  
スギやヒノキをもっと活用していきたい。

そのためには、  
スギやヒノキの特性や性質をみんなで共有できるカタチにすること、  
そして、それらの木についてみんなの“共通認識”を持つことが大切です。

そんな思いから、この「木準」は生まれました。

木が好き、木の家具が好きという人を、  
どんどん増やしていくために。

